

Special Need Education Research Center

SNERC通信

(第21号-2011年6月)

国立大学法人 筑波大学
特別支援教育研究センター
センター長：安藤 隆男
〒112-0006 東京都文京区小日向2-16-15
TEL&FAX：03-3942-6923
<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>
mail：snerc@human.tsukuba.ac.jp

■ 巻頭言

「 着 任 の ご 挨拶 」

筑波大学特別支援教育研究センター長 安藤 隆男

東日本大震災は、わが国の経済・社会活動に甚大な被害をもたらすだけでなく、人々の安心・安全の拠り所となる家庭や学校を一瞬のうちに崩壊させてしまいました。特別支援教育の現場はいまだ混乱の中にあり、児童生徒等の心の動揺の広がりや深刻化が懸念されるところです。改めて被災されました関係の方々にお見舞いを申し上げる次第です。



さて、このたび、特別支援教育研究センター長に着任をいたしました。平成16年8月に本センターに異動となって以降、附属学校長との兼務の中で必ずしも本センターの発展に貢献し得てないことへの反省を求めるものと理解しております。

特別支援教育研究センターは、開設当初の崇高な理念に立ち返り、特別支援教育に関わる教育研究の業績を積み上げることで、わが国及び国際的な当該教育の充実に寄与することが求められています。社会全体が騒然とするときだからこそ、役割を付与された私たちが真摯に職責を果たし、関係者に大いなる希望と勇気を与えるべきであるといえます。附属学校教育局、附属学校、障害科学系そしてJICAなどの関係諸機関との緊密な連携にもとづき、微力ながらセンター教職員は一体的に機能してまいる所存です。引き続き本センターの諸事業に対してご理解とご協力をお願い申し上げます。

センタースタッフ紹介

今年度の特別支援教育研究センターは、センター長をはじめ、以下の8名のスタッフで運営していきます。宜しくお願いします！

長崎 勤
(筑波大学)

コミュニケーションの発達と支援の研究をしています。

学校での指導研究も行っています。



藤原 義博
(筑波大学)

現在、附属大塚特別支援学校の校長でもあります。近年は、各地の知的障害特別支援学校の授業づくりに取り組んでいます。



左藤 敦子
(筑波大学)

九月から茗荷谷の新校舎で再スタートです。気持ちを新たにがんばっていききたいと思いますので

よろしく
お願いいたします。



間々田和彦

(附属視覚特別支援学校)
視覚障害を中心に開発国の特別支援教育を研究しています。趣味は「知ること」。旺盛な好奇心

心は人後に落ちない自信があります。



日高 雄之

(附属聴覚特別支援学校)
センター勤務も3年目です。茗荷谷から江戸川橋への移転を経験し8月後半には再び茗荷谷

への移転作業が待っています…(-_-)



野村 勝彦

(附属大塚特別支援学校)
¡Hola!附属大塚特別支援学校から来ています。免許法認定講習や南米等国际協力を主に

担当しています。よろしく
願います。



佐藤 孝二

(附属桐が丘特別支援学校)
桐が丘からの新参加者です。附属の実践研究の質を高める大切な仕事だと感じています。桐が丘の

子ども達の為にも全力を尽くします。



沼澤 聡子

(附属久里浜特別支援学校)
4月からセンター勤務となりました。センター業務の内容をわかりやすく、かつ利用していただきやすいように

情報公開していけたらと考えています。



■センター事業の紹介

現職教員研修事業は、特別支援教育体制の推進のために本センターの中核的事業として平成17年度より発足しました。指導法において専門性の高い教員及び特別支援教育コーディネーター養成のため、一定の教育経験を持つ教員等を対象に、附属視覚特別支援学校、附属聴覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校及び附属久里浜特別支援学校とセンターでの講義・演習と大学での講義聴講を組み合わせた長期研修プログラムを提供し、特別支援学校及び特別支援学級等教員の専門的実践力の更なる向上に取り組んでいます。また、平成21年度より、海外からの現職教員の受け入れを開始し、国際教育協力にも貢献しています。

◆科学研究費事業◆

本センターは、平成23年度科学研究費を申請し、「南米ボリビア国の障害児教育における教師教育モデルの構築」というテーマで採択されました。現在、南米ボリビア国では特別支援教育に携わる教師は、通常教育プログラムでの学習で、教師養成校には特別支援教育専門家がない状態です。昨年からはまったJICA「ボリビア特別支援教育教員養成プロジェクト」に本センターが関わっていることもあり、本センターの〈研究の知〉、附属特別支援学校5校における実践研究の集積〈実践開発の知〉と大学院修士課程特別支援教育専攻における学生教育の集積〈教育開発の知〉との〈知の往還・協働〉を活用し、ボリビア国の教師養成に役立つ研究成果をあげていきたいと考えています。

■平成23年度現職教員研修の開講式が行われました。

4月4日に特別支援教育研究センターの現職教員研修開講式を開催しました。今年度は、4名の研修生を迎え、附属特別支援学校5校を実践研修のフィールドとしプログラムがすすめられます。

(次回の通信から、研修生の皆さんのコラムがはじまります。ご期待ください！)



平成23年度 現職教員研修生のみなさん

現職教員研修生の勤務先および主たる研修校

氏名	勤務先	主たる研修校
小林 雅樹	静岡県立静岡聴覚特別支援学校	附属聴覚特別支援学校
小倉 藤吉	千葉県立千葉特別支援学校	附属大塚特別支援学校
大原 七生	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校	附属桐が丘特別支援学校
阿部 史枝	栃木県立栃木特別支援学校	附属桐が丘特別支援学校

■ 5 部門会議構成員が決まりました。

5 部門会議は、センタースタッフと附属特別支援学校 5 校の教員（下表参照）で構成され、センターと附属特別支援学校との連絡・調整及び、学校間の連携事業を推進するものです。各校の取組等についての情報を交換し合う中で、それぞれの専門性を活かした教育実践に発展し、連携へとつながっていくことが期待されます。

平成 23 年度 5 部門会議構成員名簿

附属視覚特別支援学校	原田 早苗	宮崎 善郎	熊澤 彩子
附属聴覚特別支援学校	両角五十夫	佐藤 幸子	
附属大塚特別支援学校	安部 博志	比嘉 展寿	吉井 勘人
附属桐が丘特別支援学校	田丸 秋穂	松本美穂子	
附属久里浜特別支援学校	根岸 恵美	吉村 郁子	

「筑波大学特別支援教育研究」第 6 巻への投稿論文等を募集しています。

センターでは、「筑波大学特別支援教育研究」を年 1 回発行しています。第 6 巻の論文等を募集します。投稿を希望される方は、期日までに以下の 5 項目を編集委員会までご連絡ください。

- (1) 執筆代表者名，所属
- (2) 表題，キーワード（3 つ）
- (3) 論文の種別【学術論文，実践報告】
※論文の種別につきましては、編集規定及び執筆規定をご覧の上、ご記入ください。
- (4) 連名著者の全員の氏名と所属
- (5) 執筆代表者の連絡先（自宅または勤務先の住所，電話番号，メールアドレス）

申込先：特別支援教育研究センター 編集委員会 宛

- メールアドレス：snerc@human.tsukuba.ac.jp
- Fax：03-3942-6938 ※ホームページより申込用紙をダウンロードできます。
- 住所：〒112-0006 文京区小日向 2-16-15

申 込 〳 切 ：平成 23 年 7 月 13 日（水）

原稿提出〳切：平成 23 年 9 月 30 日（金）

申込はできるだけ電子メールでお願いいたします。件名に「筑波大学特別支援教育研究投稿申込」とお書きください。投稿希望受付後、担当者より執筆規定、執筆要項を送付します。

また、編集規定及び執筆要綱は、特別支援教育研究センターのホームページにてご覧いただけます。

特別支援教育研究センターHP：<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>

問合せ先：特別支援教育研究センター snerc@human.tsukuba.ac.jp